

9月26日(月)

書 を 読 む

聖書朗読 ネヘミヤ記 8:1~8

また、幼いころから聖書に親しんで来たことを知っているからです。聖書はあなたに知恵を与えてキリスト・イエスに対する信仰による救いを受けさせることができます。
II テモテ 3:15

エズラや筆記者、そしてエズラの助手たちが律法の書を読むのを聞きに、全ての人々が広場前に集まりました。その時たまたま町にいた人たち全てなのか、地方からの人々もその中に含まれていたのかはわかりません。驚くべきことは、エズラが律法の書を読むのを聞きたいという彼らの強い願望です。

これは使徒ペテロがコーネリアスの家を訪ねるときと似ています。コーネリアスは「今私たちは、主があなたにお告げになった事を残らず伺おうとして、みな神の御前にまかり出ているのです。」とペテロに言いました。(使徒10:33)そこに集まった人々は、神の使いが伝えるべき言葉を聞くことを強く望み、そして従う準備のできている人々でした。

神のみことばは私たちに元気づけ、霊的に強める言葉で満たされています。そして我が魂の糧であり、日々大いに楽しむべきものです。私たちはその教えに耳を傾け、神のみことばを大切にします。

エズラが律法の書を開いたとき、民は神のみことばに敬意を表して立ち上がり、エズラの祝福の後、全ての民は“アーメン”と応えました。彼らは顔を伏せ、主を賛美しました。私たちが神のみことばに高い尊敬の念を持つとき、私たちのいのちはみことばによって祝福されるのです。皆で言いましょう”アーメン”。

讃美歌 II 80

祈り 親愛なるお父様、みことばを愛することができますようお助けください。そして、みことばをただ聞くだけではなく、実行するものとなりますよう私たちに強めてください。みことばが私たちを導き、私たちの道を照らすみ光となりますように。イエス様のお名前によって。アーメン。

スコット・ゲージ
アーカンソー州 フェーエットビル

今日のカ

2022年9月26日~10月2日

翻訳 阿部 やよい

編集 野口 恵美子

この冊子の聖句は、新改訳聖書第三版を使用しています。

御茶の水キリストの教会

9月27日(火)

勇気を見せるとき

聖書朗読 エステル 4

しかし、神は、私の行く道を知っておられる。神は私を調べられる。私は金のよう
に、出てくる。
ヨブ記 23:10

時が全てを解決するわけではありません。バスタブが詰まってしまったとき、ただ待っているだけではその詰まりが解消するわけではありません。待ってられない事もあるのです。

モデルカイは、急ぎの使いをエステルに送りました。宮殿内にいるにも関わらず、エステルはユダヤ全員の殺害の勅令執行が差し迫っていることを知りませんでした。

エステルはその勅令が執行されるのを止め、彼女の民を救うため、自分がユダヤ教徒であることを打ち明けるようモデルカイに促されました。エステルにとっては苦渋の決断の時でした。エステルは、自分の民を救うためには一刻も早く行動に移さなければならない状況であること、そして神が彼女とともにいることも知っていました。そしてそれを心から信じていました。

エステルは王に近づく前に、全ての民に三日三晩断食するように求めました。エステルは自分が殺されてしまう可能性があることを知っていましたので、できる限り多くの人々の断食の祈りを求めました。

私たちの決断の時、必要な時、いつも主は私たちと共にいてくださいます。仲間たちと共に祈ることは、神のみもとに近づくための正しい方法です。神は私たちの祈りに耳を傾け、私たちの勇敢な心を見ておられます。行動するとき、神は私たちとともにおられます。

讃美歌 500

祈り わが創造の神、あなた様の道について話し、一緒に歩んでもらえるようお願いするための強い気持ち、知恵、そして信仰を私にお与えください。イエス様のお名前でお祈りします。アーメン。

ラリー・ケイン

テキサス州 ハイランドビレジ

9月28日(水)

喜びの声をあげましょう！

聖書朗読 エスエル 9:18~32

神の子が現れたのは、悪魔のしわざを打ちこわすためです。 Iヨハネ3:8

ご近所のユダヤ人家族は毎年プリムの祭り※を祝います。とりわけ子供たちにはこの“楽しい”宗教的祝日が大好きです。プリムの仮装パーティでは、人々は聖書の中のキャラクターに合わせて衣装を着ます。小さな女の子たちは皆エステルになりたがり、男の子たちはいモルディカイになりたがります。悪のマハンには誰もなりたがりません！プリムの祭りでは、人々は”ハマンの耳“という甘いクッキーを食べます。そして、悪人のハマンと言え、子どもたちが大好きなプリムの祝いの一つで、礼拝堂で騒ぐことがあげられます。

それはなぜでしょうか？ユダヤ人の親たちは子供たちに敬意を持って聖書を読みなさいと教えますが、プリムの祭りでは、大人たちは子供たちにガラガーと呼ばれる音の出る道具を渡し、聖書を朗読する人が“ハマン”と言うたびに子供たちはガラガーを廻して大きい音を立てるのです。

彼らは何を祝っているのでしょうか？プリムの祭りは悪人ハマンがどのように、そしていつペルシャのユダヤ人たちを滅ぼそうとしていたのか、そして神はエステル王女を使って、サタンを打ち負かしたかについて語られます。つまり、ユダヤの民が絶滅される危機を主が救って下さったことをお祝いしているのです。

イエス様について行こうと決めた時のことをあなたは覚えていますか？その日神は悪を打ちのめしたのです。イエス様が『悪魔から出た者を破壊するため』現れました。(Iヨハネ 3:8) 喜びの声をあげましょう！

全地よ、神に向かって喜び呼ばわれ

その御名の栄光を歌え 詩篇 66:1

※プリムの祭りとは、ユダヤ人が古代ペルシャ帝国の高官、ハマンから逃れて、ユダヤの絶滅を逃れたことを記念し行うユダヤのお祭りのひとつです。それは、子供たちが最も楽しみにしているお祭りで、仮装したり、クッキーを食べたりします。

讃美歌 450

祈り イエス様の御名のもとに、親愛なる主、イエス様が私のため、私が愛する者のため、この世のためにサタンに打ち勝った勝利に感謝いたします
イエス様のお名前によって。アーメン。

テッド N. トーマス

テネシー州 ジョンソンシティ

9月29日(木)

私を囲む盾

聖書朗読 詩篇 3

私はこう確信しています。…私たちの主キリスト・イエスにある神の愛から、私たちを引き離すことはできません。
ローマ 8 : 38~39

私がこれを書いている時、私はウクライナの人々、彼らの美しい国が、美しい人々が壊されている行くのを見ている人々について思いを巡らしました。どれくらいの人々が詩篇3章「主よ、わたしに適する者のいかに多いことでしょうか」を読み、祈りをささげていることかと考えずにはいられません。

「主よ、あなたは私を囲む盾」と口にするには難しことでしょうか。とりわけ、愛する者が死んでしまったとき、病院が破壊されたとき、家族がバラバラなってしまったときなどは、

このような時、信仰は限界まで延ばされ、そして金のように浄化の炎を潜り抜けます。地下鉄の駅が、車庫内の列車が自分の家になってしまったとき、「私を救い出してください。ああ、我が神よ」この言葉をむなしく感じるちがいありません。あなたはどこに向かっているのでしょうか？誰を信じたらよいのでしょうか？

詩篇の作者は「救出は主の手にあり」これを心から信じており、彼の信仰を疑いのないものにしています。このような試練を経験する人は多いと思いますが、今のイエス様の弟子たちである私たちは、イエス様は「肉と血の敵」に打ち勝ったことを知っているのです、この詩篇を別の形で経験します。私たちにとっての信仰は、イエス様が私たちの罪のために死んで下さり、復活されたことを受け入れることだからです。

聖歌 472

祈り 親愛なるお父様、たとえ私に何がふりかかろうとも、あなた様のみ霊は私とともにあゆみ、たとえこの暗い世の中でも私たちを希望と喜びで満たしてください。今、戦下にあつて苦しんでいる人々のために祈ります。イエス様のお名前によってお願いいたします。アーメン。

ブルース W. ローグ
カリフォルニア州 マーセド

9月30日(金)

敵を前にして

聖書朗読 詩篇 5

ののしられても、ののしり返さず、苦しめられても、おどすことをせず、正しくさばかれる方にお任せになりました。
Iペテロ 2 : 23

この詩は、憎悪に根ざした嘘でダビデを破滅させようとしていた敵を前にしたダビデが、神に助けを懇願する歌です。

「あなたの義をもってわたしを導き、わたしの前にあなたの道をまっすぐにしてください。」とダビデは言って神に導きを求めました。敵の陰謀に対する神の義をダビデは求めました。敵を前にして、どのくらい私たちは神の義を求めているのでしょうか。不当な扱いを受けた時、たいていの場合は自分でどうにかして仕返しをしたいと思えます。この手の反応は当然のことと思うことすらあります。

ダビデは自身の道に従うのではなく、神のまっすぐな道を歩むことを望みました。ダビデはこの状況において神が働き、敵の卑劣な手段が敵自身の破滅に追いやることを望みました。ダビデは、主を愛する人々だけではなく、彼自身をも守ってもらえるよう望んでいます。今、私たちが敵を前にして、苦しみに会っている時、私たちは神の義を求め、神の道を歩むことができます。神に導きを求めることができるのです。

讃美歌 291

祈り お父様、敵を前にしている今、あなた様の名誉を汚すような方法で仕返しするのではなく、あなた様の義を求め、あなた様とともに歩むことができますように。私の戦いを全てあなた様にゆだねることができますように。イエス様のお名前によって。アーメン。

マット・パルマー
テキサス州 ラボック

10月1日(土)

暗黒の谷

聖書朗読 詩篇 23 : 1~6

たとい、死の陰を歩くことがあっても、私はわざわざを恐れませんが、あなたが私とともにおられますから。あなたのむちとあなたの杖、それが私の慰めです。

詩篇 23 : 4

「主は我が羊飼いは詩篇 23 章の初めの言葉です。そして聖書の中で最もよく知られた言葉のうちの一つです。これはダビデによって書かれたシンプルな賛美であり詩です。国によっては、多くの人がこの言葉を暗記し、復唱します。文学作品として、詩篇に勝るものはありません。羊飼いと神、羊としての彼の民をととも生き生きとしたイメージで描いています。詩篇は、途方にくれた時、そんな時の希望と勇気の詩です。

詩篇 23 章は、深い井戸のようで、多くの霊的な教えがそこから引き出されます。4 章は特に不安な日々を過ごしている我々を慰めてくれます。ダビデは人生の中で危険な谷にいたところを振り返っているのだと思います。

人生は山あり谷ありの連続であることが多いです。抜け出せない谷もあるかもしれません。しかし、私たちは神の民です。ですから恐れてはいけません。神は私たちとともにおられ、羊を守る羊飼いと私たちをお守りくださいます。

讃美歌 讃美歌 21 120

祈り 主よ、死の谷にいようと、あなた様は私たちとともにおられ、羊の世話をする羊飼いと私たちを面倒を見てくださっていることに心より感謝いたします。

イエス様のお名前によって。アーメン。

ディビット・ギブソン
テキサス州 コマース

10月2日(日)

経験者の意見

聖書朗読 詩篇 37 : 23~31

主を恐れよ。その生徒たちよ。彼を恐れる者には乏しいことはないからだ。

詩篇 34 : 9

「わたしは、むかし年若かった時も、年老いた今も、正しい人が捨てられ、あるいはその子孫が食物を請いあるくのを見たことがない。」という聖句を父がある時引用したのを覚えています。父は、この聖句をクリスチャン生活の経験から言っているだけではなく、この言葉が本当にその通りだといつも感じていたのだと思います。私も年老いた今、同じことが言えます。

恐れる必要はありません。私たちの誠実な神は神の誠実な子たちを大切に扱ってくださいます。私たちが「まず神の国と神の義とを求めた」(マタイ 6 : 33) 時、イエス様は私たちの必要を満たしてくださると約束されます。それは保証されているのです!

インフレや、食糧不足が進み、悲惨な経済予測が挙げられている今こそ、ダビデの言葉を心にとめておきましょう。私たちが神に従うのなら、本当に必要なものが与えられていないと恐れる必要はありません。神は我が創造主、贖いの主、お父様というだけでなく、私たちの太っ腹な扶養者でもあるのです。

父が言っていたように、この言葉を心から信じていけば、私たちは子供たちに孫たちにも伝えることができます。神との経験から、ダビデが言ったこの言葉は正しく、そして神は良い方であるということ私たちが証言することができます。

讃美歌 494

祈り 主よ、あなた様は私たちを見捨てず、決して私のもとを去らないというあなた様の約束を信じます。

イエス様のお名前によって。アーメン。

ディビット・ギブソン
テキサス州 コマース